

試験研究発表表題名，組織，情報，その他

平成3年度 試験研究発表題名一覧表

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
造 林	平成2年台風19号による東紀州地方の森林被害調査報告書	陶山 正憲 加茂 皓一 吉岡 二郎 田畑 勝洋	森林総合研究所関西支所・三重県農林水産部林業事務局		1～82	3. 4
	モウソウチク林の稈による年間呼吸消費量の推定	井鷲 裕司 米田 吉宏 (奈良林試)	第102回日本林学会大会講演要旨集		143	3. 4
	タケ・ササ類の葉の寿命と光環境	井鷲 裕司	第38回日本生態学会大会講演要旨集		217	3. 4
	102日林大会研究発表の概要 (造林部門)	吉村 研介 田内 裕之 森 茂太 大原 偉樹 井鷲 裕司 田淵 隆一	林業技術	590	20～23	3. 5
	タイ国における広葉樹人工林とマツ林のリターフォール量の測定例	加茂 皓一 Bopit Kiatvuttinon (タイ王室林野局)	第1回日本熱帯生態学会大会講演集		28	3. 6
	樹木紳士録(1)―近畿地方でみられる樹木―トガサワラ	加茂 皓一	森林総合研究所関西支所研究情報	21	4	3. 8
	瀬戸内沿岸地帯の山火事頻発地域における植生の動態	井鷲 裕司 加茂 皓一 小林 忠一	平成2年度森林総合研究所研究成果選集		24～25	3. 9
	京都市伏見区で調べたアオキ果実の落下過程と発芽率の事例	清野 嘉之	森林総合研究所関西支所年報	32	28	3.10
	ヤダケ群落の地上部現存量と群落構造	井鷲 裕司	森林総合研究所関西支所年報	32	32	3.10
	ヒノキ人工林における優勢木と劣性木の分散構造	加茂 皓一	森林総合研究所関西支所年報	32	51	3.10
	間伐方法の違いが間伐後のヒノキの成長に及ぼす影響	加茂 皓一 清野 嘉之 井鷲 裕司	森林総合研究所関西支所年報	32	52	3.10
	人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術	清野 嘉之	平成2年度国有林野事業特別会計技術開発試験成績報告書		245～267	3.10
	近畿地方のスギの衰退と表層土壌の酸性度	鳥居 厚志 清野 嘉之	第32回大気汚染学会講演要旨集		275	3.10
	近畿地方と石川県のスギの衰退に関する環境要因	清野 嘉之 鳥居 厚志 加茂 皓一 井鷲 裕司	第32回大気汚染学会講演要旨集		276	3.10
	モウソウチクのタケノコの呼吸活性	井鷲 裕司	Bamboo Journal	9	1～8	3.12

森林総合研究所関西支所年報第33号 平成3年度

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
造 林	樹木紳士録(2)―イチイガシ―	井 鷲 裕司	森林総合研究所関西支所研究情報	23	4	4. 2
	「ジャングル」の中は歩きやすい?	清野 嘉之	続森林の100不思議		106～107	4. 2
	近畿地方における杉の衰退について	清野 嘉之	砺波散村地域研究所研究紀要	9	1～9	4. 2
風 致 林	シミュレーションによる林分構造の3次元表示(Ⅱ)―樹冠形のモデリング手法―	野田 巖	第102回日本林学会大会講演要旨集		28	3. 4
	嵐山の風致解析と風致施業(4)―風致林の取扱い(サクラの復活をめざして)―	内村 雅一 野田 巖 杉村 乾 天野 正博	森林総合研究所関西支所研究情報	20	2	3. 5
	一対比較試験による森林植生の選好性の計量化	野田 巖 内村 雅一	森林総合研究所関西支所年報	32	38	3. 10
	アマミノクロウサギの糞の分布と森林遷移段階との関係について	杉村 乾	森林総合研究所関西支所年報	32	39	3. 10
	経済環境の変化に対応した木材価格の変動予測モデルの開発	天野 正博 野田 巖	森林総合研究所関西支所年報	32	58	3. 10
	嵐山国有林の景観についての観光客と地元住民に対する意識調査―設問の意図と回答者の反応について―	杉村 乾	森林総合研究所関西支所年報	32	63～66	3. 10
	経済環境の変化に対応した木材価格の変動予測モデル	天野 正博 野田 巖	平成2年度国有林野事業特別会計技術開発試験成績報告書		207～242	3. 10
	嵐山国有林の景観管理―アンケート調査による方針の策定―	杉村 乾 野田 巖 内村 雅一 天野 正博	第102回日本林学会大会発表論文集		127～130	3. 10
	森林の風致機能の計量的評価(Ⅲ)―森林植生のウェイトづけに関する一考察―	野田 巖 内村 雅一 澤田 耕作 (京都市)	第102回日本林学会大会発表論文集		229～232	3. 10
	奄美大島における森林伐採の鳥獣群集への影響	杉村 乾	第102回日本林学会大会発表論文集		311～312	3. 10
土 壌	平成2年台風19号による東紀州地方の森林被害調査報告書	陶山 正憲 加茂 皓一 吉岡 二郎 田畑 勝洋	森林総合研究所関西支所・三重県農林水産部林業事務局		4～25	3. 4
	ヒノキ樹幹中の微量元素の濃度	金子 真司	第102回日本林学会大会講演要旨集		78	3. 4

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
土 壌	年輪情報による森林への環境ストレスの評価法	太田 貞明 天野 正博 金子 真司 近藤 洋史	森林総合研究所所報	32	4～5	3. 5
	水土保持のための複層林施業技術事例調査—地力保全と複層林—	藤森 隆郎 荒木 誠 ほか	日本治山治水協会		18～21	3. 6
	山にも育毛材を—はげ山と土を科学する—	鳥居 厚志	Glass and Architecture	401	10～11	3. 6
	群馬県北群馬郡の平地林におけるスギ林衰退の実態とその要因	森田 佳行 阿久 沢和夫 金子 真司 荒木 誠	日本林学会関東支部大会発表論文集	42	89～92	3. 7
	樹木の成長におよぼす土壌改良の効果	鳥居 厚志 吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所年報	32	25	3.10
	竹炭施用による土壌物理性の改良	鳥居 厚志 吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所年報	32	26	3.10
	近畿地方北中部における二～三千年前のスギの分布について	鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	32	30	3.10
	優良な竹材生産のための土壌管理	西田 豊昭 吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所年報	32	31	3.10
	花崗岩山地の保水機能	吉岡 二郎 鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	32	37	3.10
	はげ山に土壌ができる過程	西田 豊昭 鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所年報	32	41	3.10
	やせ地におけるヒノキの成長と施用肥料の吸収	西田 豊昭 吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所年報	32	42	3.10
	本州地域における <i>Fagus</i> 林の分布と環境変動, とくに古植生について	鳥居 厚志	第102回日本林学会大会発表論文集		235～237	3.10
	近畿地方のスギの衰退と表層土壌の酸性度	鳥居 厚志 清野 嘉之	第32回大気汚染学会講演要旨集		275	3.10
	近畿地方と石川県のスギの衰退に関する環境要因	清野 嘉之 鳥居 厚志 加茂 皓一 井 裕司	第32回大気汚染学会講演要旨集		276	3.10
	明治神宮の土壌—都市の中の自然土壌—	金子 真司 田中 永晴 高橋 正通	森林立地	33	92～98	3.12
	自然環境調査の新技術と継承的技術	吉岡 二郎	森林総合研究所関西支所研究情報	23	1	4. 2
	樹皮浸出液の pH と陽イオン濃度	金子 真司 鳥居 厚志	森林総合研究所関西支所研究情報	23	2	4. 2

森林総合研究所関西支所年報第33号 平成3年度

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
防 災	森林の水循環	服部 重昭	森	17 (1)	2～3	3. 4
	森林の洪水緩和機能	服部 重昭	森	17 (2)	2～3	3. 7
	植生回復に伴うはげ山からの侵食土砂の経年変化	服部 重昭 小林 忠一	水利科学	35 (3)	1～36	3. 8
	樹木根系が土壌の剪断強度に及ぼす影響	服部 重昭 小林 忠一 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	32	34	3.10
	可燃物の含水率が延焼速度に及ぼす影響について	小林 忠一 服部 重昭 玉井 幸治	森林総合研究所関西支所年報	32	35	3.10
	L層の被覆が土壌からの蒸発量に及ぼす影響	玉井 幸治 小林 忠一 服部 重昭	森林総合研究所関西支所年報	32	36	3.10
	森林蒸発散研究への取り組みの一つの方向	服部 重昭	森林科学	3	52	3.10
	はげ山の植生回復と侵食土砂量	服部 重昭	森林総合研究所関西支所研究情報	22	2	3.11
	林床被覆がヒノキ人工林の侵食防止に及ぼす影響	服部 重昭 阿部 敏夫 小林 忠一 玉井 幸治	森林総合研究所研究報告	362	1～34	4. 1
	森林地の蒸発と蒸散	服部 重昭	森林水文学		78～102	4. 1
経 営	樹幹流下量の予測	服部 重昭 小林 忠一 玉井 幸治	森林総合研究所所報	41	3	4. 2
	「戦後造林木」の利用段階を迎えた農家林業の現状とその課題(2)	野田 英志	林業経済	510	15～22	3. 4
	地域林業の可能性を問う—林業の視角と“地域”林業の視点—	野田 英志	森林総合研究所関西支所研究情報	21	3	3. 8
	アカマツ—ヒノキ複層林の収穫予測	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	32	29	3.10
	ヒノキ長伐期林分における育林投資と材の収穫額—高野山国有林の事例—	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	32	50	3.10
	間伐強度とワイブルパラメータの関係	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	32	53	3.10
	高取山収穫試験地の林分構造と成長	家原 敏郎	森林総合研究所関西支所年報	32	59～62	3.10
	安藤・竹内—河原モデルを適用した成長予測—アカマツ—ヒノキ二段林を対象にして—	家原 敏郎	平成2年度国有林野事業特別会計技術開発試験成績報告書		164～171	3.10

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
経 営	数値モデルによる森林成長の樹種・地域特性の解明 (Ⅳ) — 関西地域における直径分布の地域・施業特性 —	家原 敏郎	第102回日本林学会大会発表論文集		157~158	3. 10
保護部長	平成2年台風19号による東紀州地方の森林被害調査報告書	陶山 正憲 加茂 皓一 吉岡 二郎 田畑 勝洋	森林総合研究所関西支所・三重県農林水産部林業事務局		49~50	3. 4
	タムマンの産卵と幼虫の穿入	田畑 勝洋 吉田 成章 岡部貴美子	第102回日本林学会大会講演要旨集		267	3. 4
	関西地域における今後の研究課題「カメムシ類の種子・球果害虫の防除技術の確立」とその研究推進	田畑 勝洋	森林総合研究所関西支所研究情報	21	1	3. 8
	Function of the sex pheromone in the mating behavior of the Japanese pine sawyer beetle.	田畑 勝洋 金 吉河 (京都大) 高橋 正三 (京都大)	Proc. 22nd Int. Ethol. Conf.		61	3. 8
	The mating behaviour of three longhorn beetles of Japan.	田畑 勝洋 B.A. フェウジ (京都大) 日高 敏隆 (京都大)	Proc. 22nd Int. Ethol. Conf.		136	3. 8
	スギノアカネトラカミキリの産卵対象枝に関する考察	田畑 勝洋 萩原 進 (和歌山林セ)	日本林学会関西支部大会講演集	41	71~72	3.10
	スギカミキリの配偶行動における性フェロモンの役割	金 吉河 (京都大) 高橋 正三 (京都大) 田畑 勝洋	第51回昆虫学会・第35回応用動物昆虫学会合同大会講演要旨集		289	3.10
	Mating behaviour of the cryptomeria Barc Borer, <i>Semanotus japonicus</i> Lacordaire (Coleoptera: Cerambycidae).	B.A. フェウジ (京都大) 田畑 勝洋 伊藤 賢介 高橋 正三 (京都大) 日高 敏隆 (京都大)	Appl. Entomol Zool.	27 (1)	19~30	4. 3
樹 病	ヒノキ漏脂病の発病および病徴進展に関する組織学的検討	黒田 慶子 宮島 淳二 (熊本林研指) 山田 利博 伊藤進一郎	第102回日本林学会大会講演要旨集		66	3. 4

森林総合研究所関西支所年報第33号 平成3年度

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
樹 病	<i>Macrophoma</i> 菌株間の材変色性の差異	山田 利博 宮島 淳二 (熊本林研指) 黒田 慶子 伊藤進一郎	第102回日本林学会大会講演要旨集		68	3. 4
	スギ集団枯損と暗色枝枯病	宮島 淳二 (熊本林研指) 山田 利博 黒田 慶子 伊藤進一郎	第102回日本林学会大会講演要旨集		68	3. 4
	Mechanism of cavitation development in the pine wilt disease.	黒田 慶子	Eur. J. For. Path.	21	82~89	3. 4
	ヒノキの保護—病害—	伊藤進一郎	檜と人生		213~217	3. 9
	樹脂胴枯病菌を接種したヒノキ系統の発病経過	山田 利博 黒田 慶子 伊藤進一郎	森林総合研究所関西支所年報	32	43	3.10
	スギ・ヒノキ暗色枝枯病による被害の発生動向	伊藤進一郎 山田 利博 黒田 慶子	森林総合研究所関西支所年報	32	54	3.10
	<i>Seiridium unicorne</i> の形態的差異	横内 広宣 (神奈川林試) 田端 雅進	日本林学会関東支部大会発表論文集	42	107~108	3.10
	スギ・ヒノキの暗色枝枯病—集団枯損の発生とその要因—	山田 利博 伊藤進一郎	森林総合研究所関西支所研究情報	22	3	3.11
	<i>Bursaphelenchus xylophilus</i> induced pine wilt: Factors associated with resistance.	黒田 慶子 山田 利博 伊藤進一郎	Eur. J. For. Path.	21	430~438	3.12
昆 虫	<i>Macrophoma</i> 菌株間のスギに対する病原性および材変色性の差異	山田 利博 宮島 淳二 (熊本林研指) 伊藤進一郎	日本林学会誌	74 (2)	97~101	4. 3
	ニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i> の採食生態と食害	山田 文雄	第102回日本林学会大会講演要旨集		60	3. 4
	ニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i> の採食生態	山田 文雄	日本生態学会講演要旨集	38	311	3. 4
	銘竹とタケトラカミキリ	五十嵐正俊	森林総合研究所関西支所研究情報	20	3	3. 5
	森の仲間たち(4)—「けものウォッチング」哺乳類観察入門—	山田 文雄	森林総合研究所関西支所研究情報	20	4	3. 5
	林床植生改変によるノウサギのヒノキ造林木食害に対する防止効果	山田 文雄	森林防疫	40	84~88	3. 5

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	Biology of the Two Parasitoid Wasps, <i>Atanycolus initiator</i> (FA-BRICIUS) and <i>Spathius brevicaudis</i> RATZEBURG (Hymenoptera: Braconidae) on Subcortical Beetles in Japanese Pine Trees.	浦野 忠久 肘井 直樹 (名古屋大農)	Appl. Entomol Zool.	26 (2)	183~193	3. 5
	Feral rabbits on Japanese islands.	山田 文雄	Lagomorph Newsletter	14	9~11	3. 6
	スギ人工林におけるスギカミキリの生息数と林齢との関係	伊藤 賢介	森林防疫	40 (6)	106~109	3. 6
	タイワンカモシカを追って (翻訳)	小泉 透	アニマ	225	60~64	3. 6
	関西地域のニホンジカの現状と管理の方向性	小泉 透	野生動物保護—21世紀への提言—		186~189	3. 6
	紀伊半島のヤチネズミ	北原 英治	森林	25	39~40	3. 7
	ニホンジカと森林被害を考える	小泉 透	森林	25	93~94	3. 7
	クマによる農林業被害の実態	山田 文雄	コロキウム「日本のクマ '91」講演要旨集		22	3. 7
	穿孔虫に寄生するハチ類の生活史	浦野 忠久	森林総合研究所関西支所研究情報	21	2	3. 8
	Foraging, selection and quality of the Japanese hare (<i>Lepus brachyurus</i>).	山田 文雄 川本 行博 (琉球大農)	Abstracts of 22nd International Ethological Conference		44	3. 8
	ノウサギ	山田 文雄	けものウォッチング		8~17	3. 9
	ウォッチング1—宇治から信楽へ—	山田 文雄	けものウォッチング		18~19	3. 9
	森林の利用と野生動物との共存	山田 文雄	けものウォッチング		283~285	3. 9
	野生鳥獣の管理と森林施業	小泉 透	森林施業・技術研究		259~270	3. 9
	Reproduction of female Sika deer and fetal development in Hyogo, Japan.	小泉 透	Abstracts of Ungulates '91		41	3. 9
	ケヤキの害虫ヤノナミガタチビタマムシ誘引剤捕殺試験	細田 隆治 五十嵐正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	32	27	3.10
	竹林・竹材害虫の生態と防除法の確立—ベニカミキリの寿命と産卵数—	五十嵐正俊 細田 隆治 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	32	33	3.10

森林総合研究所関西支所年報第33号 平成3年度

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	ドングリを加害消費する動物たち	小泉 透 五十嵐正俊	森林総合研究所関西支所年報	32	40	3.10
	ノウサギの採食生態と食害メカニズム	山田 文雄	森林総合研究所関西支所年報	32	44	3.10
	兵庫県におけるニホンジカの冬の食性	小泉 透	森林総合研究所関西支所年報	32	46	3.10
	マツノマダラカミキリ寄生性糸状菌の新利用法の開発	細田 隆治 五十嵐正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	32	47	3.10
	マツノマダラカミキリの個体群動態とマツ枯損の疫学的解明—春の気温の推移と成虫の脱出消長—	五十嵐正俊 細田 隆治 伊藤 賢介 浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	32	48	3.10
	キタコマユバチの性比調節	浦野 忠久	森林総合研究所関西支所年報	32	49	3.10
	スギカミキリ個体群変動要因の解明—天敵類の影響—	伊藤 賢介 浦野 忠久 三浦 由洋 (福井総合セ) 井上 重紀 (福井総合セ)	森林総合研究所関西支所年報	32	55	3.10
	クマによる林木剥皮発生地域におけるクマの出現状況	山田 文雄 小泉 透 北原 英治	森林総合研究所関西支所年報	32	56	3.10
	大型野生動物の生息環境と個体群の解析	山田 文雄 小泉 透 北原 英治	森林総合研究所関西支所年報	32	57	3.10
	野生動物の捕獲情報収集システムの開発	小泉 透	森林総合研究所関西支所年報	32	68	3.10
	シラホシゾウ属とその寄生バチ2種の樹幹内分布	浦野 忠久	第102回日本林学会大会発表論文集		251～ 252	3.10
	竹林・竹材害虫の生態(Ⅱ)—タケトラカミキリの被害実態—	五十嵐正俊 細田 隆治 浦野 忠久	第102回日本林学会大会発表論文集		265～ 266	3.10
	滋賀県信楽町におけるニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i> の餌選択とその栄養価値	山田 文雄 川本 行博 (琉球大農)	第102回日本林学会大会発表論文集		303～ 304	3.10
	スギカミキリ雌成虫の体サイズが次世代に及ぼす影響	伊藤 賢介 松本 邦宏 (近畿大) 佐藤 保 (近畿大)	日本林学会関西支部大会合同大会資料集	42	135	3.10

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	キイロコキタイムシを利用した天敵微生物によるマツノマダラカミキリの防除試験— <i>Beauveria brongniartii</i> を用いた野外放虫試験—	細田 隆治 五十嵐正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久 小林 正秀 (京都林試)	日本林学会関西支部大会合同大会資料集	42	136	3.10
	キイロコキタイムシを利用した天敵微生物によるマツノマダラカミキリの防除試験— <i>Beauveria brongniartii</i> を用いた袋内放虫試験—	細田 隆治 五十嵐正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	日本林学会関西支部大会合同大会資料集	42	137	3.10
	誘引器を利用したスギノアカネトラカミキリの分布調査	五十嵐正俊 細田 隆治 伊藤 賢介 浦野 忠久	日本林学会関西支部大会合同大会資料集	42	141	3.10
	兵庫県におけるニホンジカの栄養状態	小泉 透	日本哺乳類学会1991年度大会講演要旨集		53	3.10
	キュウシュウノウサギの齢査定(レンズ重量法)と野生個体群における齢査定の試み	安藤 彰朗 (島根医大) 山田 文雄 谷口 明 (鹿児島林試) 白石 哲 (九州大農)	日本哺乳類学会1991年度大会講演要旨集		55	3.10
	頭骨の形態と核型から見た紀伊半島産ヤチネズミ	北原 英治 原田 正史 (大阪市大医)	日本哺乳類学会1991年度大会講演要旨集		14	3.10
	樹皮下穿孔虫の寄生バチ2種の性比調節および寄生資源利用に関する比較	浦野 忠久	第51回昆虫学会・第35回応用動物昆虫学会合同大会講演要旨集		170	3.10
	小型草食獣類としてのノウサギの採食適応	山田 文雄	野兎研究会大会講演集	24	8	3.10
	国際会議報告: 第22回 IEC	山田 文雄	森林総合研究所関西支所研究情報	22	4	3.11
	国際学会報告	小泉 透	森林総合研究所関西支所研究情報	22	4	3.11
	The Mass Mortality of Oak Trees Induced by <i>Platypus quercivorus</i> (MURAYAMA) and <i>Platypus calamus</i> BLANDFORD (Coleoptera: Platypodidae) —The Density and Spatial Distribution of Attack by the Beetles—	肘井 直樹 (名古屋大農) 梶村 恒 (名古屋大農) 浦野 忠久 衣浦 晴生 伊丹 英生 (愛知県)	日本林学会誌	73 (6)	471~476	3.11

森林総合研究所関西支所年報第33号 平成3年度

研究室	題 名	著者名	書 名	巻・号	ページ	年・月
昆 虫	Factors Causing the Difference in Parasitism Pattern between Two Parasitoid Wasps, <i>Atanycolus initiator</i> (FABRICIUS) and <i>Spathius brevicaudis</i> RATZEBURG (Hymenoptera: Braconidae), on Subcortical Beetles in Japanese Pine Trees.	浦野 忠久 肘井 直樹 (名古屋大農)	Appl. Entomol Zool.	26 (4)	425～434	3. 11
	足尾のニホンカモシカ	北原 英治	森林防疫	40 (12)	1	3. 12
	スギカミキリの配偶行動	B.A. フウジア (京都大) 田畑 勝洋 伊藤 賢介 高橋 正三 (京都大) 日高 敏隆 (京都大)	日本応用動物昆虫学会誌	36 (1)	64	4. 2
	紀伊半島の野ネズミ	北原 英治	森林総合研究所関西支所研究情報	23	3	4. 3
	天敵利用によるマツくい虫防除調査	細田 隆治 五十嵐正俊 伊藤 賢介 浦野 忠久	平成3年度林野庁委託事業報告書		63～66	4. 3
	Mating behaviour of the cryptomeria barc borer, <i>Semanotus japonicus</i> Lacordaire (Coleoptera: Cerambycidae).	B.A. フウジア (京都大) 田畑 勝洋 伊藤 賢介 高橋 正三 (京都大) 日高 敏隆 (京都大)	Appl. Entomol Zool.	27 (1)	19～30	4. 3
	レンズ重量によるキュウシュウノウサギの齢査定と野生個体群への適用	安藤 彰朗 (島根医大) 山田 文雄 谷口 明 (鹿児島林試) 白石 哲 (九州大農)	九大農学芸誌	46	169～175	4. 3
	ホッキョクグマ (翻訳)	小泉 透	アニメ	234	50～67	4. 3

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(1) 沿革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成替のうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 所

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ、同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 庁舎・研究室を新設・移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林・保護の2部）
- 〃 防災研究室を岡山試験地から移転
- 昭和51.11 庁舎・研究室（昭和31. 3新築のもの）を改築
- 昭和57.12 鳥獣実験室を新築
- 昭和59.12 治山実験室を新築
- 昭和62.12 森林害虫実験棟（旧昆虫飼育室）を建替え
- 〃 危険物貯蔵庫を建替え
- 昭和63. 3 ガラス室、隔離温室を建替え
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により森林総合研究所関西支所と名称を改む
- 〃 風致林管理研究室を育林部に増設
- 〃 調査室を連絡調整室と名称を改む
- 平成元.12 粗試料調整測定室を新築
- 平成 3. 3 風致林管理実験棟を新築

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山市上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和12.12 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む
- 昭和60.12 試験地無人化となり事務所を閉鎖する
- 昭和63. 9 旧庁舎、宿舍など施設を取壊す
- 昭和63.10 林業試験場の組織改変により試験地廃止さる

(2) 土地および施設

1. 土地

					関西支所
庁舎敷地					64,117 m ²
内訳					
庁舎				舎	9,904
苗圃				畑園	10,923
樹木				園	5,831
見本林				林	35,321
その他				施設等	2,138
敷地					4,000
宿舎					7,045
島津					3,812
宇治					13,337
岡山					
計					92,311 m ²

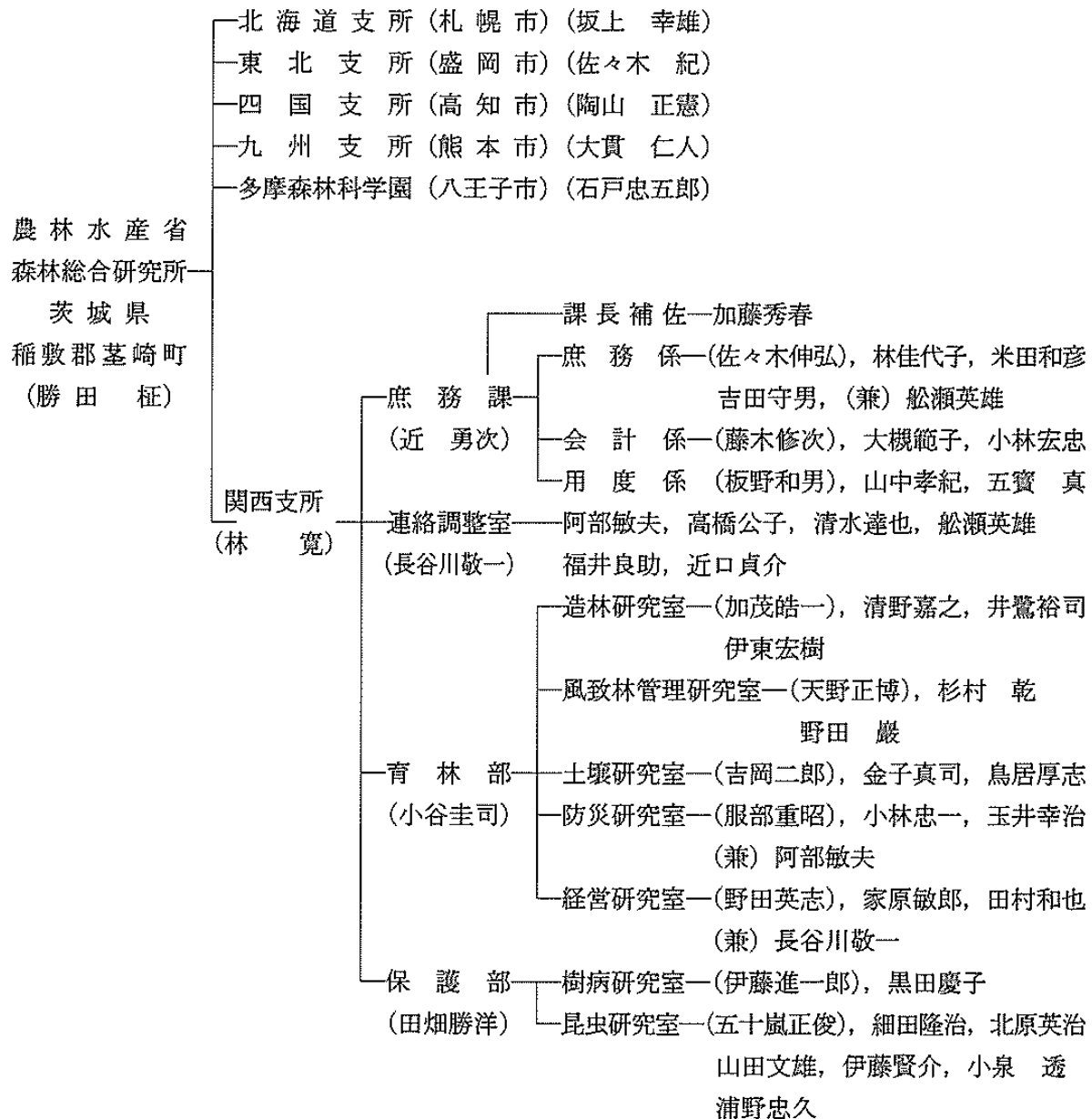
2. 施設(延べ面積)

庁舎					3棟	2,275 m ²
内訳						
研究室				(本館)		1,507
〃				(別館)		628
機械室						140
温室				1棟		85
ガラス室				1〃		56
隔離温室				1〃		124
殺菌培養室				1〃		48
樹病低温実験室				1〃		91
森林害虫実験棟				1〃		219
鳥獣実験室				1〃		139
治山実験室				1〃		157
粗試料調整測定室				1〃		124
材線虫媒介昆虫実験室				1〃		41
人工降雨室				1〃		19
風致林管理実験棟				1〃		260
事務連絡所				1〃		223
その他				10〃		356
宿舎				4〃		970
計					30棟	5,187 m ²

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(3) 組 織

(平成4年3月31日現在)



(4) 人 の 動 き

3. 4. 1 付

本所森林生物部森林動物科長へ
保護部長に
庶務課庶務係長に
庶務課庶務係に
連絡調整室に
育林部経営研究室に

保 護 部 長	滝 沢 幸 雄
九 州 支 所	田 畑 勝 洋
庶 務 課 庶 務 係	佐 々 木 伸 弘
連 絡 調 整 室	米 田 和 彦
庶 務 課 用 度 係	清 水 達 也
愛 媛 大 学	野 田 英 志

3. 5. 1 付

育林部造林研究室に	本	所	伊 東 宏 樹
育林部経営研究室に	本	所	田 村 和 也

3. 6. 1 付

退 職	育林部風致林管理研究室	内 村 雅 一
連絡調整室に	本 所	阿 部 敏 夫
育林部経営研究室長に	育 林 部 経 営 研 究 室	野 田 英 志

3. 8. 1 付

四国支所長へ	育 林 部 長	陶 山 正 憲
育林部長に	主 任 研 究 官	小 谷 圭 司

3. 12. 1 付

本所総務部用度課課長補佐へ	庶 務 課 課 長 補 佐	篠 井 徳 男
庶務課課長補佐に	本 所	加 藤 秀 春

4. 3. 25 付

本所森林生物部腐朽病害研究室へ	保 護 部 樹 病 研 究 室	山 田 利 博
-----------------	-----------------	---------

4. 3. 31 付

退 職	庶 務 課 庶 務 係	吉 田 守 男
退 職	連 絡 調 整 室 長	長 谷 川 敬 一
退 職	連 絡 調 整 室	福 井 良 助
退 職	育林部土壌研究室長	吉 岡 二 郎
退 職	育林部防災研究室	小 林 忠 一
退 職	庶 務 課 用 度 係	山 中 孝 紀

(5) 会 議 の 開 催

1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会

森林総合研究所の関西支所，四国支所の管内2府16県の公立林業関係研究機関，林木育種センター関西育種場，同山陰事業場，四国事業場，森林総研関西支所，四国支所など24機関の長を会員として構成された協議会であり，年一回定期総会が開催される。

平成3年度は第44回の総会にあたり，林木育種センター関西育種場の企画により5月29日，30日の両日岡山県美作町で開催された。

会議は国の機関ならびに林業試験研究機関連絡協議会（全林試協）など中央における林業試験研究関係の動向が紹介され，ついで各研究専門部会（10部会）から活動の状況が報告，今後の計画が提案，討論された。この中で立地部会が部会名変更をしたい旨提案されたが，承認にいたらず引続き検討することになった。また，地域研究推進の論議では，野生鳥獣に関する研究のために新しい組織の設置について上部機関に要望書を提出することが決議された。

2. 林業研究開発推進近畿・中国ブロック会議

この会議は，林業研究開発推進会議要領にもとづいて毎年開催されている。平成3年度の第19回会議は10月3日当支所会議室で開催された。会議には府県側から近畿・中国地区2府12県の林

務部局行政担当者および林業試験研究機関の長が, また国側から大阪営林局, 林木育種センター 関西育種場, 同山陰事業場の関係者, ならびに林野庁研究普及課の荒木研究企画官, 森林総研の 金谷企画科長が出席した。

会議はまず林野庁, 森林総研からの挨拶のあと議事に入り, 林野庁, 森林総研, 関西育種場から技術開発に関する動向の紹介がされた。ついで各府県から主要な研究の成果56題が報告され, 近畿・中国ブロックにおける重要研究課題の成果として11課題を摘出した。さらに技術開発に関する要望課題が各府県から提案され討論が行われた。その分野別の主な課題は次のとおりである。

- | | |
|---------|---|
| 造 林 分 野 | 積雪地帯における環境保全林特性に関するもの 4 題。 |
| 風 致 分 野 | 森林機能高度発揮のための応用的研究に関するもの 1 題。 |
| 防 災 分 野 | 急傾斜地における表土流亡危険度の判定に関するもの 1 題。 |
| 経 営 分 野 | 低コスト, 省力技術に関するもの 2 題, 長伐期化に関するもの 2 題。 |
| 保 護 分 野 | 針葉樹の材質劣化と被害防除に関するもの 8 題, 有用広葉樹等の害虫防除に関するもの 7 題, 鳥獣類の森林被害・保護等適正管理に関するもの 7 題。 |

作業・機械分野 地域に適合した林業機械に関するもの 3 題。

特 産 分 野 菌根性きのこ増産および特用林産物栽培に関するもの各 1 題。

木材・林産分野 地域産針葉樹中径材等の利用技術の開発に関するもの10題。

これらの課題を中心とした討論の結果, 近畿・中国ブロックにおける今年度の地域重要課題として次の 5 課題を摘出した。

- ① 森林・林業の「流域」管理技術の体系化に関する基礎調査
- ② 針葉樹の材質劣化被害の発生生態と被害防除に関する総合研究
- ③ 野生鳥獣の生息動態と森林環境の変化に関する基礎調査
- ④ 有用広葉樹における害虫発生情報の収集と防除に関する研究
- ⑤ 地域産針葉樹中径材の利用技術の開発

3. 関西支所研究成果発表会

この発表会は, 関西支所の研究者によって得られた研究の成果を広く利用してもらうため公開で行われており, 第 6 回目に当たる今年度は, 10月 4 日支所会議室に府県関係者, 国有林関係者, 民有林関係者など多数の出席を得て開催された。

発表会は森林総研生物機能開発部森林化学科生物活性物質研究室の谷田貝室長による特別講演「樹木成分の生物活性とその利用」があり, ついで支所研究者 2 名による研究成果の発表と討論が行われた。また, 本年度は同時にポスターセッションによる 3 題の発表「アカマツとヒノキの混交による林分の物質生産の増大」(造林研: 加茂皓一), 「短期的な木材価格予測のためのモデル」(風致林管理研: 天野正博), 「ハチカミの次はトビグサレが危ない」(昆虫研: 五十嵐正俊)を行ない, 好評を得た。なお, 発表した研究成果の概要は, 「研究成果発表会記録」として P 65 ~66に収録した。

4. 森林総合研究所研究成果発表会

平成 3 年度森林総合研究所研究成果発表会は, 10月 1 日東京都港区の「石垣記念ホール」にお

いて開催され、6課題が発表された。この中で関西支所育林部造林研究室の井鷲裕司研究員が「炭素循環からみた竹林の生態特性」について発表した。

5. 関西支所研究検討会・研究推進会議

研究検討会は2月24日、25日の両日、全研究員出席のもと支所会議室で開催された。各研究問題の大課題ごとに研究成果個表に基づいて、研究の進捗状況の報告を行ない検討された。

研究問題X Vでは5課題が完了し、次年度から新規課題として1課題、1課題が研究員の退職により中止、また研究問題X VIでは完了課題9、新規課題6が提案、討議され、研究推進会議で報告されることとなった。

研究推進会議は2月28日支所会議室で開催された。会議では研究問題X V「風致林および都市近郊林の育成・管理技術の高度化」、研究問題X VI「関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立」の両研究問題について大課題責任者から研究検討会で討議された結果の報告が行なわれ、検討・調整を行ない、新規1課題の追加を決定し、主要な研究成果6題、速報課題4題、重要研究課題素材7題を摘出した。

さらに、特別検討事項として「鳥獣関連分野の研究の進め方について」を主体に討論された。その中で研究問題の組替について提案されたが、次の研究基本計画の見直し時期に調整することとし、当面は現行課題内で処理することとなった。

また、3月6日には平成3年度からスタートした関西支所中心のプロジェクト研究「緑資源の総合評価による最適配置計画手法の確立に関する研究」(略称「緑資源」)の研究推進会議を、農林水産技術会議連絡調整課青木課長補佐、兵庫県および本・支所の関係者を含め、支所輪講室で開催し、初年度の報告と今後の研究推進方向について討論、確認された。

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	受 託 者	用 務 先	実施月日	出 張 者	
				研究室	氏 名
「高性能林業機械選考会議」 現地調査	大分県林業 水産部長	大分県大分市	3. 6. 3 ～ 5	支所長	林 寛
「林業の機械化について」 講師	福井県知事	福井県福井市	3. 6.18 ～19	〃	〃
第1回広島県林業試験研究機関 整備検討懇話会	広島県林務 部長	広島県広島市	3. 7. 1 ～ 2	〃	〃
「高性能林業機械選考会議」 現地調査	大分県林業 水産部長	大分県大分市	3. 7.10 ～12	〃	〃
平成3年度第2回振動障害防止 基準検討委員会（工具・表示専門部会）	中央労働災 害防止協会	茨城県茎崎町	3. 7.22 ～24	〃	〃
第2回広島県林業試験研究機関 整備検討懇話会	広島県林務 部長	広島県三次市	3. 9. 9 ～10	〃	〃
第3回広島県林業試験研究機関 整備検討懇話会	広島県林務 部長	広島県広島市	3.10.18 ～19	〃	〃
シカ・カモシカの被害実態調査 指導	林野弘済会 高知支部	高知県馬路村	3.11.19 ～22	昆 虫	山田 文雄
平成3年度第4回振動障害防止 基準検討委員会（工具・表示専門部会）	中央労働災 害防止協会	東京都	3.11.28 ～29	支所長	林 寛
平成3年度第1回振動障害防止 基準検討総合委員会	〃	〃	3.12.17 ～18	〃	〃
シカ・カモシカの被害実態調査 指導	林野弘済会 高知支部	高知県馬路村	4. 3.11 ～14	昆 虫	山田 文雄

(7) 当 所 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
五寶 真	大阪市社会福祉センター	3. 4. 2～3. 4. 5	近畿地区新規採用者職員研修
米田 和彦	大阪合同庁舎第2号館	3. 5. 28～3. 6. 6	第39回近畿地区中堅係員研修
〃	大阪司法書士会館	3. 7. 25	平成3年度第2回給与実務担当者研修会
伊東 宏樹	森林総合研究所	3.10.14～3.10.18	平成3年度所内短期技術研修
野田 巖	ECC 外語学院	3.10.18～4. 3. 20	英語研修
金子 真司	〃	〃	〃
山田 文雄	〃	〃	〃
家原 敏郎	筑波農林団地	4. 1. 20～4. 1. 31	平成3年度数理統計短期集合研修
浦野 忠久	〃	〃	〃

(8) 技 術 研 修 受 け 入 れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
三浦 由洋	福井県総合グリーンセンター	3. 5. 1～3. 7. 31	森林病害一般
桜井 潤一	広島県庄原農林事務所	3. 7. 23～3.10.15	風致林の評価及び施業方法について

(9) 海 外 出 張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 課 題
清野 嘉之	インドネシア	3. 9. 11～ 3.10.17	インドネシア熱帯降雨林研究計画フェーズ2に係る専門家
伊藤進一郎	マレーシア	3.10.23～ 3.12.14	マレーシア・サバ州造林研究開発訓練計画に係る専門家
服部 重昭	ブラジル	3.10.26～ 3.12. 1	ブラジル第三国研修（流域管理）専門家
天野 正博	大韓民国	3.12. 9～ 3.12.22	環境林の造成管理専門家

(10) 海 外 派 遣

氏 名	派 遣 先	派 遣 期 間	研 究 課 題
清野 嘉之	インドネシア	4. 2. 26～ 6. 2. 25	インドネシア熱帯降雨林研究計画

試験研究発表題名,組織,情報,その他

(ii) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学	小 中 高	林業団体	一 般	
国 内	件 数	37	24	6	0	21	12	100
	人 数	89	110	180	0	26	67	472
国 外	件 数	フィリピン (7), マレーシア (7), ブラジル (5), 中国 (3), コロンビア (2), パプアニューギニア (1), ケニア (1), タイ (1), ナイジェリア (1), タンザニア (1), インドネシア (1)						30
	人 数							

(12) 試験地一覧表

試 験 地 名	営林署	担当区	林 小 班	樹 種	面 積	設定 年度	終了 予定 年度	担 当 研究室
高取山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	奈 良	下 市	56 ほ 49 ほ	ス ギ	(ha) 0.60	昭10	平12	経 営
高取山ヒノキ人工林 //	//	//	56 ほ	ヒ ノ キ	0.40	// 10	// 9	//
高野山スギ人工林 //	高 野	高 野	31 ろ	ス ギ	0.17	// 10	// 25	//
高野山ヒノキ人工林 //	//	//	31 ろ	ヒ ノ キ	0.25	// 10	// 25	//
滝谷スギ人工林 //	山 崎	西 谷	136 に	ス ギ	2.25	// 11	// 32	//
新重山ヒノキ人工林 //	福 山	三 和	49 と	ヒ ノ キ	1.05	// 12	// 28	//
遠藤スギその他択伐用材林作 業収穫試験地	津 山	上斉原	39 ろ	ス ギ	1.67	// 12	// 69	//
西山アカマツ天然林皆伐用材 林作業収穫試験地	広 島	河 内	1,032 い	アカマツ	1.02	// 12	// 8	//
滑山スギ人工林 //	山 口	滑	11 り	ス ギ	1.60	// 13	// 28	//
奥島山アカマツ天然林画伐用 材林作業収穫試験地	大 津	八 幡	79 は	アカマツ	1.75	// 13	// 29	//
地獄谷アカマツ天然林その他 択伐用材林 //	奈 良	郡 山	17 わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	// 15	// 54	//
篠谷山スギ人工林皆伐用材林 //	倉 吉	根 雨	1,015 い	ス ギ	0.80	// 34	// 25	//
茗荷淵山ヒノキ人工林 //	新 宮	飛 鳥	41 へ	ヒ ノ キ	0.17	// 35	// 62	//
白見スギ人工林 //	//	新 宮	5 ほ	ス ギ	1.24	// 37	// 43	//
六万山スギ人工林 //	金 沢	白 峰	55 は	ス ギ	0.79	// 37	// 57	//
西条保育形式試験地	広 島	志 和	11 へ	アカマツ	2.15	// 33	// 6	造 林
福山 //	福 山	上 下	16 へ	ス ギ	2.25	// 33	// 6	//
吉永植栽比較試験地	岡 山	和 気	1,005 ほ	スギ他5	1.54	// 41	// 8	//
林地肥培西条(クロマツ) 試験地	広 島	河 内	1,026 に	クロマツ ヒノキ	0.32	// 39	// 7	土 壌
竜の口山量水試験地	岡 山	岡 山	11ほ・に・は	アカマツ他	44.99	// 10	// 8	防 災
馬乗山試験地	福 山	大 野	69 ち	スギ・ヒノキ	6.50	// 43	// 7	造 林
小関林内更新試験地	大 津	大 津	15 ら	ヒ ノ キ	2.10	// 55	// 3	//
焼尾試験地(ヒノキ)	三 重	阿 山	72 に	ヒ ノ キ	0.15	// 59	// 6	土 壌
青岳試験地(ヒノキ)	//	//	81 ほ	ヒ ノ キ	0.30	// 59	// 6	//
複層林施業試験地	大 津	大 津	20 わ	ヒ ノ キ	0.24	// 59	// 6	造 林
竹林施業技術の改良試験地	京 都	木 津	523 い	マ ダ ケ	0.31	// 60	// 14	土 壌
針広混交誘導試験地	神 戸	箕 面	72 ほ・り	ヒ ノ キ	1.50	// 60	// 7	造 林
水谷水文試験地	京 都	木 津	509 い	広 葉 樹	51.60	// 63	// 10	防 災
坂ノ谷ミズメ個体群更新機構 試験地	山 崎	和田山 奥 谷		広 葉 樹		// 63	// 6	造 林
嵐山国有林風致試験地	京 都	嵐 山	38	ス ギ 他	59.03	平元	// 10	風致林

試験研究発表題名,組織,情報,その他

(13) 気 象 年 報

3 年 月	気温 °C 120 cm							気温別日数 120 cm				
	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最 高		最 低		
								< 0°C	≥ 25°C	< -10°C	< 0°C	≥ 25°C
1	4.0	8.9	1.0	13.1	20	-1.8	24				11	
2	3.7	8.6	-0.4	13.8	11	-4.5	24,26				17	
3	8.6	13.6	4.5	21.1	27	-1.8	2				4	
4	15.1	20.3	8.6	28.0	12	-0.8	2		4		2	
5	18.9	23.5	13.1	32.6	26	3.0	5		12			
6	23.7	27.4	19.2	34.5	26	11.5	5		23			
7	27.2	31.3	22.6	36.2	22	18.6	4		31			3
8	28.0	32.4	22.7	36.8	17	17.7	8		31			7
9	24.6	29.7	20.0	35.9	5	14.5	29		27			
10	16.7	21.4	13.3	28.9	4	7.2	21		2			
11	10.4	16.5	6.0	21.3	3	2.0	25,26					
12	6.1	12.2	3.3	18.4	7	-1.2	30				9	
年							2/					
極値				36.8	8/17	-4.5	24, 26		130		43	10

3 年 月	湿度 %			降水量 (mm)			量 別 降 水 日 数					
	平均 9 h	最小	起日	総量	最大 日量	起日	≥1 mm	≥10 mm	≥30 mm	≥50 mm	≥100 mm	≥300 mm
1	67.0	41.0	4	31.5	17.0	29	2	1				
2	62.2	32.0	21	74.0	25.5	23	5	2				
3	62.6	32.8	7	190.5	65.5	1	7	3	2	1		
4	52.7	26.0	27	153.5	41.0	8	6	4	2			
5	55.0	22.2	2	93.0	43.0	19	4	1	1			
6	63.8	47.0	8	240.0	59.0	16	9	3	2	1		
7	62.2	38.8	8	215.0	62.0	3	10	2	2	1		
8	54.4	41.0	27	20.5	6.0	17,20	5					
9	58.3	40.0	11	91.5	30.0	19	6	3	1			
10	62.7	34.5	15	215.5	84.5	8	5	4	1	1		
11	61.8	35.0	20	93.0	63.5	30	1	2		1		
12	70.6	31.2	12	41.5	16.5	20	7	1				
年				1,459.5								
極値		22.2	5/2		84.5	10/1	67	26	11	5		

年報編集委員会

田 畑 勝 洋
阿 部 敏 夫
杉 村 乾
玉 井 幸 治

1992 年 9 月 24 日 印刷

1992 年 9 月 30 日 発行

森林総合研究所関西支所年報

第 33 号 平成 3 年度

発行所 農林水産省森林総合研究所関西支所

〒612 京都市伏見区桃山町永井久太郎官有地

TEL (075) 611-1201

印刷所 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売小川東入ル

TEL (075) 441-3155 (代)